

10年間の活動記録

1. 各サークル活動

サークル名	発足年度 (平成)	主な活動内容	活動日など
万葉グループ	16年度	万葉植物園整備 社会教育指導員による講義	毎月第3土曜日午前 奇数月の活動終了後
旧進藤家活動	17年度	旧進藤家来館者への解説 カマドの修復 お正月のお飾り作り	平成22年～23年 平成21年～22年 平成21年の年末～
葉月の会	24年度	植物画の制作 年1回なるほど館での作品展	毎月第3土曜日午後
郷土を学ぶ会	25年度	郷土袖ヶ浦を色々な角度から学ぶ ・散策による取材活動 ・資料による調査活動	散策会： 2か月に1回程度 第3木曜日

<活動の様子>

(1) 万葉グループ



作業終了後の万葉歌の講義



作業風景



年に1回の移動研修



平成26年度景観まちづくり賞表彰式

(2) 旧進藤家活動



古いカマドの解体作業



完成した新しいカマド



新しいカマドの火入れ式



お正月飾り作り

(3) 葉月の会



活動風景



活動風景



なるほど館ロビー展展示風景



ロビー展最終日記念撮影

(4) 郷土を学ぶ会



打ち合わせ風景



鎌倉街道散策



久留里道散策で地元の方との交流



房総往還散策：坂戸市場満蔵寺にてひと休み

2. 定例活動

活動	開始年度 (平成)	主な活動内容	実施日・ 実施期間
全体会議	16年度	活動報告・年間計画 企画展などの話し合い	4月 必要に応じて随時
博学連携支援	16年度	6年生の勾玉作り支援 3年生の昔の暮らし体験（石臼、炭火アイロン、野良着、洗濯、餅焼き）支援など	4月～6月 秋から冬にかけて
ミュージアム フェスティバル	16年度	ミュージアムフェスティバルでのイベント スタッフ	6月上旬
企画展補助	16年度	職員担当の企画展に関する展示補助など	随時
「KANJIN」 の発行	17年度	市民学芸員連絡紙の作成・発行	17年度～ 20年度
エントランス の飾り付け	21年度	エントランスでの、子どもの日、七夕飾り、 クリスマスツリーなど季節の飾りつけ	随時
子どもの日の イベント	22年度	ベーゴマなどの昔の遊びや、折り紙遊びなどを 来場者とともに遊ぶ。 来場者へのプレゼント配布（お菓子などの持 ち寄りなど）	5月5日
館長学	25年度	山田館長による講座	奇数月の第 4土曜日
どんぐり便り の発行	25年度	市民学芸員だよりの作成・発行	随時



全体会議



勾玉作り支援



石臼体験支援



炭火アイロン体験支援



博学連携支援（野良着体験）



ミュージアムフェスティバル（火おこし）



ミュージアムフェスティバル（たたき染め）



ミュージアムフェスティバル（工作教室）



ミュージアムフェスティバル（模擬店）



ミュージアムフェスティバル(マスコット作り)



エントランス飾り付け（セタ）



エントランス飾り付け（クリスマスツリー）



子どもの日のイベント（ベーゴマ）



子どもの日のイベント（工作）



子どもの日のイベント（水でっぼう）



子どもの日のイベント（折り紙）



館長学 参加風景



館長学 参加風景

3. 年度ごとの活動

(1) 平成 16 年度 認定者数 48 人

- 市民学芸員発足当初は以下のグループ分けを行い、毎月定期活動日を 1 回設定した
- 第 1 グループ (ガイドボランティア、展示の企画運営: ガッテングループ)
- 第 2 グループ (資料整理と調査: 調整グループ)
- 第 3 グループ (イベントと地域連携: 絆グループ)
- 第 4 グループ (鶴岡塾 上総掘り)

活動内容

- 市民学芸員養成講座 (全 6 回)
- 市民学芸員全体交流会、代表者会議、連絡紙「KANJIN」の発行
- 万葉植物園整備、体験学習支援
- 上総高砂の実演
- 上総掘り井戸掘削・用具作成



市民学芸員養成講座



上総高砂の実演

(2) 平成 17 年度 認定者数 57 人

活動内容

- 市民学芸員全体交流会、代表者会議、連絡紙「KANJIN」の発行
- 第 2 期生市民学芸員養成講座 (全 5 回)
- ミュージアムフェスティバル
- 企画展「こどもたちと博物館 私のたからもの」展示支援
- 万葉植物園整備、体験学習支援
- 上総高砂の実演
- 上総掘り井戸掘削・用具作成



企画展「私のたからもの」展示風景



市民学芸員全体交流会

(3) 平成18年度 認定者数 53人

活動内容

市民学芸員全体交流会、連絡紙「KANJIN」の発行
第3期生市民学芸員養成講座（全11回）
ミュージアムフェスティバル
万葉植物園整備、体験学習支援、自主勉強会
企画展「市内中学校美術部作品展」展示補助
上総掘り井戸掘削・用具作成



市民学芸員養成講座



ガッテングループ自主勉強会

(4) 平成19年度 認定者数 46人 年間延べ活動人数 801人

第4グループの鶴岡塾が上総掘り技術研究会へ移行。

活動内容

市民学芸員全体会議、連絡紙「KANJIN」の発行
万葉植物園整備、体験学習支援
ミュージアムフェスティバル
企画展「市内中学校美術部作品展」展示補助
特別展「房総と熊野」展示補助、イベント補助
第3期展示基本構想展示審査委員会への参加



「市内中学校美術部作品展」展示風景



平川中学校出前授業

(5) 平成20年度 認定者数 43人 年間延べ活動人数 326人

活動内容

市民学芸員全体会議、連絡紙「KANJIN」の発行
古代のアクセサリー作り補助
万葉植物園整備、体験学習支援、旧進藤家活動
ミュージアムフェスティバル
屋外展示（消防ポンプ車の活用）
企画展「市内中学校美術部作品展」展示補助
生涯学習推進大会 実践発表参加（野良着体験紹介）



平岡小学校出前授業



生涯学習推進大会実践発表

(6) 平成21年度 認定者数 26人 年間延べ活動人数 546人

初めての自主企画展開催。エントランスの飾り付け始める。

活動内容

市民学芸員全体会議、万葉植物園整備、体験学習、校外学習支援
旧進藤家活動（かまどづくり）、ミュージアムフェスティバル
エントランス飾り付け（七夕、クリスマスツリー）
企画展「市内中学校美術部作品展」展示補助
市民学芸員自主企画展「我が家のお雛様」開催、ワークショップ開催



旧進藤家活動（旧安西家での研修）



クリスマス飾り付け風景

(7) 平成22年度 認定者数 36人 年間延べ活動人数851人

市民学芸員を「どんぐりの会」と命名。市民学芸員証を作成。
既存のグループ活動ではなく、自由な立場での活動を始動。
第2次市民学芸員の募集・認定。
子どもの日のイベントを初めて開催。

活動内容

市民学芸員全体会議、市民学芸員養成講座
万葉植物園整備、体験学習、校外学習支援
旧進藤家活動（かまどづくり、ガイド）
子どもの日のイベント、ミュージアムフェスティバル
エントランス飾り付け（子どもの日、七夕、クリスマスツリー）
企画展「市内中学校美術部作品展」展示補助
旧進藤家での餅つき・会食
市民学芸員自主企画展「写真でみる袖ヶ浦の今昔」開催



市民学芸員養成講座（勾玉作り）



旧進藤家での餅つき後の集合写真

(8) 平成23年度 認定者数 29人 年間延べ活動人数1,004人

博物館の使命を検討する「使命検討委員会」発足。

活動内容

市民学芸員全体会議、万葉植物園整備、体験学習、校外学習支援
旧進藤家活動（かまどづくり、ガイドなど）
子どもの日のイベント、ミュージアムフェスティバル
エントランス飾り付け（子どもの日、七夕、クリスマスツリー）
企画展展示補助、使命検討委員会
市民学芸員自主企画展「こんなに素敵な袖ヶ浦」開催、関連イベント開催



使命検討委員会



企画展の話し合い

(9) 平成24年度 認定者数 31人 年間述べ活動人数1,023人

開館30周年。葉月の会結成。

活動内容

市民学芸員全体会議、お疲れさん会（幸春にて）
万葉植物園整備、体験学習、校外学習支援、葉月の会活動
旧進藤家活動（ガイド、お飾りづくり）
女性セミナー、根形公民館地域学講師、駅からハイク
子どもの日のイベント、ミュージアムフェスティバル
エントランス飾り付け（子どもの日、七夕、クリスマスツリー）
30周年記念講演補助
（進藤家 de 紙芝居、草のおもちゃづくり、博物館きもだめしなど）
企画展展示補助

市民学芸員自主企画展「昭和のくらし 一衣・食・住 そして遊びー」開催、
関連イベント開催



駅からハイク準備風景



自主企画展内覧会

(10) 平成25年度 認定者数 31人 年間延べ人数823人

郷土を学ぶ会結成。

活動内容

市民学芸員全体会議、
万葉植物園整備、体験学習、校外学習支援、葉月の会活動
郷土を学ぶ会活動、旧進藤家活動（お飾りづくり）
女性セミナー講師、ミュージアムフェスティバル
エントランス飾り付け（子どもの日、七夕、クリスマスツリー）
子どもの日のイベント
市民学芸員自主企画展「伝えたい郷土のあれこれ」開催



旧進藤家の人形展の飾り付けを終えて



女性セミナー（市民会館）

(11) 平成26年度 認定者数 30人 年間延べ活動人数944人

市民学芸員 10周年

- ・クローバー賞（新日鉄住金君津社会貢献賞）受賞
- ・袖ヶ浦市教育功労者表彰
- ・景観まちづくり賞奨励賞受賞

活動内容

市民学芸員全体会議、
万葉植物園整備、体験学習、校外学習支援、葉月の会活動
郷土を学ぶ会活動、旧進藤家活動（お飾りづくり）
女性セミナー講師、子どもの日のイベント、ミュージアムフェスティバル
野田市郷土博物館見学・交流会
エントランス飾り付け（子どもの日）
市民学芸員自主企画展「ふるさと袖ヶ浦一人・暮らし・風景ー」開催、
関連イベント開催



クローバー賞受賞式



野田市郷土博物館見学会・交流会

4. 自主企画展

市民学芸員が企画、調査研究、展示を行う企画展。平成 21 年度より始まった。

(1) 平成 21 年度自主企画展「我が家のお雛様」

- ・平成 22 年 2 月 6 日（土）～3 月 7 日（日）
- ・市民学芸員が提供したお雛様を展示。お雛様を通じて家族の物語を紹介。



ポスターおよびチラシ（予算がなくて手作りでした）



お雛様展示会に行ってきました



エントランスでは七段飾りがお出迎え



展示準備の様子



男性陣も頑張っています



大盛況の展示室。手作りの吊るし雛が大好評



七段飾りの前で記念撮影。みんな笑顔です



珍しいオートバイのお雛様。人気でした



手作りお雛様を作るワークショップ



こんなにかわいいお雛様ことができました

(2) 平成 22 年度自主企画展「写真で見る 袖ヶ浦の今昔」

- 平成 23 年 2 月 5 日 (土) ~ 3 月 13 日 (日)
- 公募で収集した昔の写真を中心に、市民学芸員が撮影場所を取材した。
- 当時と同じアングルで定点撮影した写真も展示した。



ポスター（この年から自主企画展を予算化したため、印刷業者に製作依頼できた）



展示作業風景



開催期間の様子

写真で見る袖ヶ浦の今昔

袖ヶ浦市郷土博物館では、「市民学芸員」がボランティア活動を活発に行っています。今回の企画展は、市民学芸員が自主的に企画したものです。昨年度は「我が家のお雑様」という企画展を開催しました。その経験で得た活動力を生かし、また、自分たちの住んでいる袖ヶ浦の歴史を知ることにより、袖ヶ浦を愛する心を育てるきっかけとなることを願い、今回の展示を企画しました。

準備は、袖ヶ浦の昔の写真を集めることから始まりました。市民学芸員の活発な収集活動の結果、約300枚の写真を集めることができました。その中から、約70枚の写真を選び出し、撮影された場所の現在の様子を対比して展示しました。また、資料収集、取材・調査活動、展示作業、広報活動など、市民学芸員が力を合わせて行ってきました。「昔懐かしい袖ヶ浦」、「今まで知らなかった袖ヶ浦」をどうぞご覧下さい。

今回、貴重な写真・資料等を提供していただいた団体・個人の方々に深く感謝いたします。

◆展示内容◆

1. 大正から昭和時代の袖ヶ浦の歴史
2. 写真で見る袖ヶ浦の今昔
 - (1) 風景・建物の今昔
 - (2) 生活・風習の今昔
3. 記録映像上映 (のりの町奈良輪、海苔養殖)
4. 昔のカメラの展示
5. 市民学芸員始動 市民学芸員の今を紹介

〈市民学芸員活動の様子〉



会議風景



話し合い風景



撮影現場の取材風景



ポスター原案作成風景

※袖ヶ浦市郷土博物館では、引き続き、昔の写真を集めております。ご協力お願いします。



袖ヶ浦市郷土博物館

〒299-0255 千葉県袖ヶ浦市下新田1133番地
電話 0438-63-0811(代)
FAX 0438-63-3693

(3) 平成 23 年度自主企画展「こんなに素敵な袖ヶ浦」

- 平成 24 年 2 月 18 日 (土) ~ 4 月 8 日 (日)
- 袖ヶ浦の 5 地区を各グループが担当し、その地区の人達に直接取材した色々な魅力を紹介した。
- 展示で取り上げた資料に関連したイベント (ギャラリートーク、紙芝居、フルーツコンサート) を行い、大盛況だった。



ポスター



開催期間の様子



紙芝居の様子

こんなに素敵な 袖ヶ浦

展示内容

- 1 「袖ヶ浦の素敵」いろいろ
袖ヶ浦の5つの地域の特徴、観光などのダイジェスト展示
- 2 市民学芸員の見つけた各地域の「素敵」
長浦地区「ハマから一大工業地帯へ」
昭和地区「昭和地区のふるきを尋ねて」
根形地区「語り継ぎたい人・くらし そして心」
平岡地区「平岡人(ひらおかびと) むかしといま」
中川・富岡地区「歴史で 深めよう地域の絆」
- 3 記録映像上映 (中川小学校の創作劇など)
- 4 こんなに素敵な市民学芸員 市民学芸員の活動を紹介

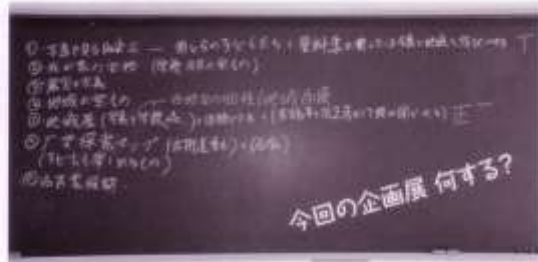
袖ヶ浦市郷土博物館では、「市民学芸員」がボランティア活動を活発に行っています。その活動は、今やこの博物館には欠かせないものになっています。

市民学芸員による企画展も、今回で3回目となりました。前回の「写真で見る袖ヶ浦の今昔」で培った経験、人・地域とのつながりを活かし、今回の企画展に取り組みました。市内各地区(長浦、昭和、根形、平岡、中川・富岡)について市民学芸員自身が良く学び、それぞれの地区の自慢したいことを選び出して、それらを多くの市民に伝えたいという思いを、「こんなに素敵な袖ヶ浦」というメインテーマに込めて準備をしてきました。

まず、1地区4人から5人のグループを編成し、地区ごとの調査を行いました。袖ヶ浦町史、袖ヶ浦市史、文化財に関する報告書、何種類もの行政刊行物などを調査し、グループリーダーを中心に「自慢」のターゲットを絞り込んできました。

また、現地での聞き取り調査やアンケートの実地など、地域の人と関わりながら、地域のことを学び、新しい発見をしてきました。そして、調査した内容について、グループで何度も何度も話し合いを重ねました。そのような活動を通して、地域の人とのふれあいや市民学芸員同士の深い絆も生まれました。どうぞ、市民学芸員の袖ヶ浦への深い思いが込められた「こんなに素敵な袖ヶ浦」をお楽しみください。

今回、貴重な資料の提供、聞き取り調査に協力していただいた団体・個人の方々に深く感謝いたします。



取材・調査風景



会議の様子



取材・調査風景

(4) 平成 24 年度自主企画展「昭和の暮らし ー衣・食・住 そして遊びー」

- ・平成 25 年 2 月 16 日 (土) ~4 月 7 日 (日)
- ・昭和の時代を衣・食・住・遊びの観点から振り返り、今を見直す展示。関連イベント (昔の遊び体験・トークショー) も好評であった。



ポスター



昭和 30 年代の居間を再現した展示



昔の遊び体験

市民学芸員による企画展 Part 4

昭和の暮らし —衣・食・住 そして遊び—

袖ヶ浦市郷土博物館では、「市民学芸員」がボランティア活動を活発に行っています。その活動は、今やこの博物館には欠かせないものになっています。

市民学芸員による企画展も、今回で4回目となります。今までの企画展の経験や、人・地域とのつながりを生かし、さらに良い企画展にしていこうと取り組んできました。市民学芸員全員が昭和生まれであり、自らが体験した「昭和の暮らし」を懐かしく思い出し、楽しみながら準備ができました。

「昭和の暮らし」を、「衣」、「食」、「住」、「遊び」という4つの観点から掘り下げ、「昭和の暮らし —衣・食・住— そして遊び—」というメインテーマを掲げました。そして、「衣グループ」、「食グループ」、「住グループ」、「遊びグループ」という4つのグループが考えたサブテーマに基づき、調査やアンケートの実施、展示資料の収集・作製を行いました。さらに、「イベント」グループ、「広報」グループが、開催期間中の関連イベントの企画や、広報活動を行ってきました。

調査を進めていく中で、いかに昭和の時代が、精神的に豊かで無駄のない時代であったかということに認識しました。この展示を通じて、現在の生活様式を見直すきっかけとなるように、多くの市民に伝えていきたいと思えます。今回の企画展は、昭和世代の方には、懐かしさ・郷愁を味わってもらい、昭和を知らない世代の方には、昭和の時代を理解する一助となることでしょう。

今回、貴重な資料の提供、聞き取り調査に協力していただいた団体・個人の方々に深く感謝いたします。

◆展示内容◆

1. 「昭和の出来事」
年表と写真で見る昭和の時代の出来事
2. 「昭和の暮らし —衣・食・住— そして遊び—」
 - ・衣 「装いは文化—そして憧れてました。」
 - ・食 「食は生きること—それが楽しみに！」
 - ・住 「楽しい家族の団らん」
 - ・遊び 「見て、ふれて、遊んでみよう昭和のオモチャ」
3. 記録映像上映「昭和の暮らし博物館」制作記録映画「昭和の家事」の上映
4. 昭和の暮らしのひとコマ（昭和30年代の居間）を再現
5. 市民学芸員の活動の紹介

<企画展に向き合う市民学芸員の姿>



全体会議



リーダー会議



東京・昭和の暮らし博物館での取材



給食センターへの取材



収蔵庫の資料の確認



展示資料の選定

※袖ヶ浦市郷土博物館では、写真などの昭和の時代の資料をひきつづき、収集しております。ご協力お願いいたします。



袖ヶ浦市郷土博物館

〒 299-0255

千葉県袖ヶ浦市新田 1133 番地

電話 0438-63-0811/0

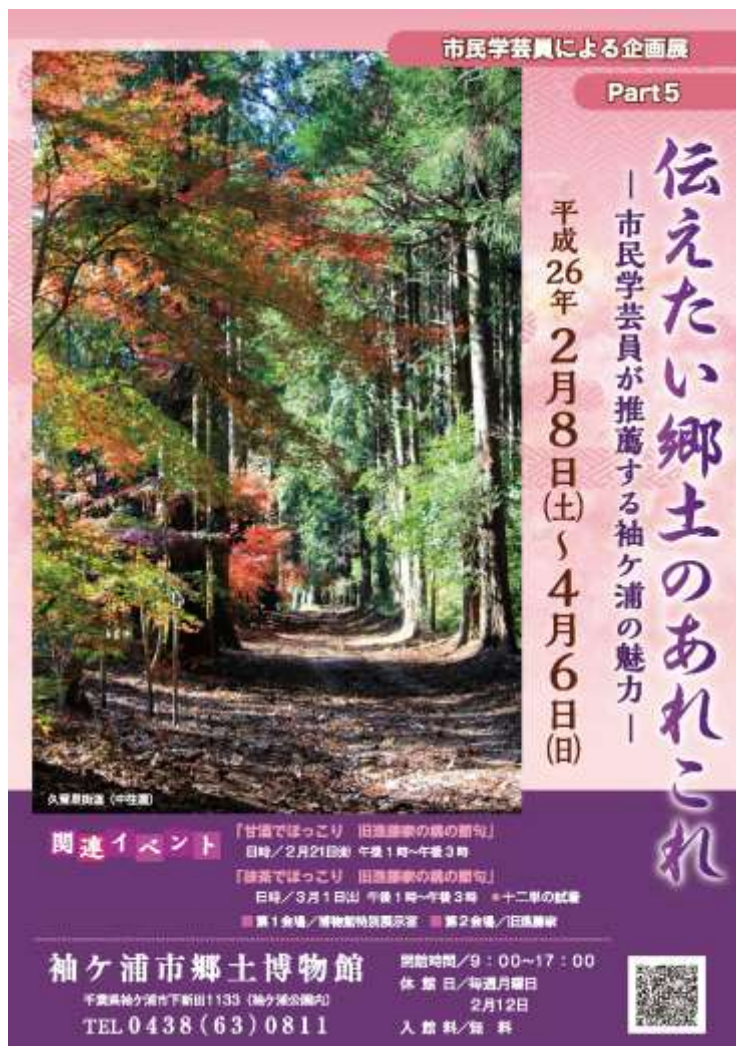
FAX 0438-63-3693

チラシ裏面

(5) 平成 25 年度自主企画展

「伝えたい郷土のあれこれー市民学芸員が推薦する袖ヶ浦の魅力ー」

- 平成 26 年 2 月 8 日 (土) ~ 4 月 6 日 (日)
- 市民学芸員が推薦する袖ヶ浦の魅力の中から「道」、「花」、「土器」、「旧進藤家」を紹介した。旧進藤家では、市民学芸員が持ち寄ったお雛様などの人形を飾り、多くの方に楽しんでもらった。甘酒と抹茶の販売も行った。



ポスター



展示風景



旧進藤家での人形展

市民学芸員による企画展 Part 5

伝えたい郷土のあれこれ — 市民学芸員が推薦する袖ヶ浦の魅力 —

袖ヶ浦市郷土博物館では、「市民学芸員」がボランティア活動を活発に行っています。その活動は、今やこの博物館には欠かせないものになっています。

市民学芸員による企画展も、今回で5回目となります。今回の企画展では、市民学芸員が推薦する郷土袖ヶ浦の魅力を紹介し、最初に、市民学芸員が紹介したい題材のアンケート調査を行いました。その結果をふまえ、数ある魅力の中から、「道」、「花」、「土器」、「旧進藤家」を取り上げました。

第1会場である本館特別展示室では、「道」、「花」、「土器」を展示しました。

「道」では、昨年、発足した「郷土を学ぶ会」の活動の中で散策した「鎌倉街道」と、「久留里道」の魅力を紹介します。また、袖ヶ浦市内に現在ある23の「通り」を写真で紹介しています。これらの道の魅力を、実際に散策をして感じてもらえるように、イラストマップや地図を用意しました。

「花」では、「袖ヶ浦公園」と、博物館の施設である「万葉植物園」の花を紹介しています。市民学芸員の中には、万葉植物園の整備や万葉歌の学習会などを定期的に行っているグループがあります。そのメンバーが撮影した写真と、おとし発足した植物画グループ「葉月の会」のメンバーが描いた植物画で、その魅力を紹介します。

「土器」では、袖ヶ浦市内で出土した、縄文時代から奈良・平安時代の土器の魅力を、実際に発掘作業に関わっている市民学芸員の視点で紹介しています。

第2会場である旧進藤家では、旧進藤家の魅力を来館者に紹介しています。旧進藤家住宅概要、旧進藤家に関わる古文書の解説などを展示し、展示内容に関するワークシートを用意して、今まで以上に、来館者に理解を深めてもらえるようにしました。

また、市民学芸員が持ち寄った雛人形などを仲の間に展示しました。旧進藤家とお人形の素敵なコラボレーションを楽しんでいただけたらと思います。

来年度は、市民学芸員創設10周年です。この企画展開催が、市民学芸員の更なる進化のステップとなることでしょう。

今回、貴重な資料の提供、聞き取り調査に協力していただいた団体・個人の方々に深く感謝いたします。

◆展示内容◆

<第1会場 特別展示室での展示>

- ・伝えたい郷土の —道—
鎌倉街道—上総路（歴史の道百選より）
とんさみち（殿様道）と野里を歩く
知ってる？この「通り」

- ・伝えたい郷土の —花—
今を彩る万葉集の花おりおり

- ・伝えたい郷土の —土器—

<第2会場 旧進藤家>

- ・旧進藤家って？
- ・進藤家の人形展 —市民学芸員のお家に飾られたお人形たち—

<市民学芸員の活動の様子>



鎌倉街道散策



全体会議を終えて



万葉植物園グループ活動風景



袖ヶ浦市郷土博物館

袖ヶ浦市郷土博物館

〒 299-0255 千葉県袖ヶ浦市下新田 1133番地
電話 0438-63-0811内
FAX 0438-63-3693

チラシ裏面

(6) 平成 26 年度自主企画展「ふるさと袖ヶ浦一人・暮らし・風景」

- ・平成 27 年 2 月 7 日（土）～4 月 5 日（日）
- ・市内各地域をグループや個人で担当し、その魅力を地域の人々と直接関わり、調査した成果を展示した。袖ヶ浦の新たな魅力が紹介された。また、「今日は一日博物館でござろう！」という関連イベントで、スクリーン紙芝居、繭人形作り、小高神社に関するギャラリートークを行った。

市民学芸員による企画展 Part6

ふるさと 袖ヶ浦

一人・暮らし・風景

平成27年2月7日(土) ~ 4月5日(日)

2F特別展示室・産業展示室2
 開館時間 9:00~17:00
 休館日 毎週月曜日・2/12
 入館料 無料

関連イベント
3月1日(日)
今日は一日博物館でござろう!
 参加費 無料・申込不要

スクリーン紙芝居
 10時30分~13時30分
 場所 映像展示室
 民話「佐吉の犬」
 「坊さんの目薬」
 「三夜様」の上巻

繭人形作り
 11時30分~15時
 場所 体験学習室

ギャラリートーク
 12時~ 場所 研修室
 「小高神社と海の口の人々」
 海の口在住
 鈴木弥須雄さん

袖ヶ浦市郷土博物館

千葉県袖ヶ浦市下新田1133(袖ヶ浦公園内) TEL:0438-63-0811・FAX:0438-63-3693
 HP: <http://www.sodegurazoo.ed.jp/socetaku/index.htm>

ポスター



展示の様子



繭人形作り

ふるさと袖ヶ浦 一人・暮らし・風景

袖ヶ浦市郷土博物館では、「市民学芸員」がボランティア活動を活発に行っています。その活動も、今年度で10年目を迎えました。今や博物館には欠かせない存在です。市民学芸員による企画展で6回目となります。今回は、これまで以上に充実した企画展にしようと意気込んで取り組みました。

市内各地域（長浦、昭和、根形、平岡、中川・富岡）を5つのグループが担当し、その魅力を地域の人々と直接関わり、調査を進めてきました。「ふるさと袖ヶ浦 一人・暮らし・風景」という名称には、多くの方々に、袖ヶ浦市の魅力を伝えたいという思いがこもっています。

長浦グループは、「袖ヶ浦の中世城館跡」をテーマに久保田城や蔵波砦をはじめ、市内の中世城館跡の現地調査を行い、その成果と発掘調査などで出土した遺物や写真資料などとともに紹介します。

昭和グループは、「袖ヶ浦にもあった養蚕業」をテーマに、市内で養蚕を営んでいた農家の取材や、長野県の岡谷蚕糸博物館や横浜市のシルク博物館へも出向き、幅広い視野で研究活動を行いました。

根形グループは、「幕末期の名主の欄間」と「根形の四季」を取り上げました。根形の旧家に伝わる幕末の彫刻「後藤彫り」の欄間彫刻の実物資料の展示と、後藤彫りの彫師の系譜を紹介します。

また、「根形の四季」では、この地域のブドウ、ナシ、ダイコン、ネギ、シクラメン、米などを生産する農家や農産物を紹介し、根形の四季の風景をパネルで展示します。

平岡グループは、「袖ヶ浦の民話」をテーマに展示をします。平岡地区に伝わる「三夜様」、「坊さんの目薬」は、市民学芸員が描いた絵コンテをもとに、袖ヶ浦高校美術部の生徒さんの協力を得て紙芝居を作りました。また、老人介護施設で作成した紙芝居「金毘羅様と佐吉の犬」なども紹介・上演します。

中川・富岡グループは、各自が個別テーマに取り組み、この地域の魅力を紹介します。その中の一つは、「山下清と横田の人々」～裸の大将放浪記より～というテーマで、「裸の大将放浪記」で有名な「山下清」が横田に滞在した時の様子を地元の方から聞き取り、それをもとに山下清とかかわった横田の人々の紹介や、山下清の作品（複製）を展示します。

このような活動を通じて、地域の人とのふれあいが生まれ、ふるさと袖ヶ浦への思いがさらに深まりました。多くの方々に、袖ヶ浦の魅力を再認識していただく機会になれば幸いです。

今回、貴重な資料の提供、聞き取り調査に協力していただいた団体・個人の皆様に深く感謝いたします。

◆主な展示内容

1 ふるさと袖ヶ浦の魅力

- ・「袖ヶ浦の民話」
袖ヶ浦高校美術部・市民学芸員の制作した紙芝居の展示
- ・「袖ヶ浦にもあった養蚕業」
袖ヶ浦で使われていた養蚕用具の資料展示
- ・「袖ヶ浦の中世城館跡」
市内にある中世城館跡の出土資料の展示
- ・「幕末期の名主の欄間」
根形の旧家に伝わる幕末の欄間の実物資料展示
- ・「根形の四季」
根形地区の農産物と生産者の紹介、四季の風景パネル展示
- ・「山下清と横田の人々」～裸の大将放浪記より～
山下清の横田滞在時のエピソード紹介
山下清の作品（複製）の展示
- ・「小高神社の神楽」
小高神社の神楽で使われていた獅子頭の展示
- ・「袖ヶ浦の出羽三山信仰」
行人装束の実物資料の展示

2 記録映像上映

「小高神社の神楽」

3 市民学芸員10年の記録

市民学芸員の10年間の活動を紹介

<企画展に取り組む市民学芸員>



今回の企画展の名称は？



館長との勉強会



展示に関する勉強会

チラシ裏面